

トヨタ86&スバルBRZ No.20  
チューニング&ドレスアップ徹底ガイド

**HYPER  
REV**

ニュースムック  
[ハイパーレブ]  
車種別チューニング&  
ドレスアップ徹底ガイドシリーズ

2024年9月13日発行

vol.280

# 86&BRZ

パーツメーカーのさらなる提案

**アイテム&メニュー  
最前線**

**No.20**



「何からやれば……」がまるわかり

**初歩からの86/BRZ  
カスタマイズ入門講座**



ブレイク必至の  
新作がズラリ!

**エアロ&ホイール研究会**

チューナーからのさらなる提案

**デモカー徹底解剖**



総数

**3700**オーバー

チューニング&  
ドレスアップ

**パーツカタログ**

## 注目アイテム情報局

「愛車をカスタムしてもっと楽しみたい」と願う皆さんに向け、各パーツメーカーからの最新情報をお届けするのがこのコーナー。インテリア&エクステリアからマフラーまで、本誌がピックアップした高品質なチューニング&カスタムパーツを紹介しよう!

# BRIDE

ブリッド

☎ブリッド ☎052-689-2611 <https://bride-jp.com/>

PHOTO: 清水良太郎

Sample **GR86**  
XERO CS & STRADIA III



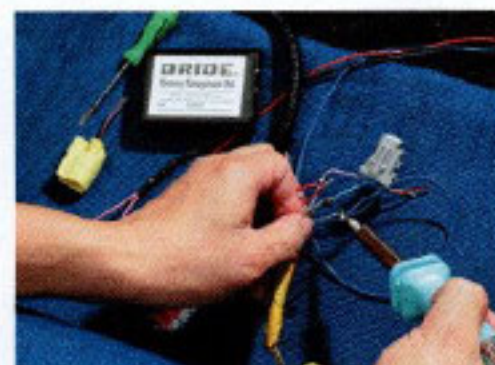
走りを楽しみむならシート交換は必須  
豊富なラインナップから  
自分にピッタリの一脚を探そう!

### 助手席側シート交換時の エラー回避を可能にする!

メモリーマネジメントユニットは純正シートのシリアル番号をユニット内にコピーし、イグニッションオン時の通信を行うことでエラーを回避する。初期設定と配線作業は多少複雑だが、親切な取り付け説明書が付属しているので安心だ。



純正シートには着座センサーとサイドエアバッグが内蔵されており、それに伴ってシート下には2つのコネクタがある。メモリーマネジメントユニットの初期設定に純正シートが必要なので配線作業が終わるまで近くに置いておこう。



配線を割り込ませる方法はいくつかあるが、ブリッドでは確実な結線と振動などへの対策としてハンダ付けを推奨。配線が終わったあとは説明書に従って初期設定を行う必要がある。



ブリッド製シートの2022年5月1日以降の受注生産分には着座センサーが標準内蔵となっている。

何も対策を行わずに助手席側シートを交換すると、メーター内に警告表示が点灯する。このままでは車検に合格することができないのだ。

SRSエアバッグ  
システム点検  
直ちに停車し  
販売店へ連絡

### メモリーマネジメント ユニット

価格: 4万1580円



メモリーマネジメントユニットは純正シートのシリアル番号をユニット内にコピーし、イグニッションオン時の通信を行うことでエラーを回避する。初期設定と配線作業は多少複雑だが、親切な取り付け説明書が付属しているので安心だ。

走りの魅力のGR86/BRZ/N8/ZD8だが、残念ながら純正シートはイマイチと言わざるを得ない。ホールド性が低いにもかかわらず快適性もイマイチ。そんなオーナーの悩みを豊富なラインナップで解決してくれるのがブリッドだ。GR86/BRZは室内が比較的広いのでシート選択に関する制約はほぼなく、走るステータジや体型、好みに合わせて自由にチョイスすることができる。ただし、助手席側シートを交換する際には注意が必要となっている。

実はGR86とBRZの助手席側シートは車両側のコンピューターが助手席シート固有のシリアル番号を記憶しておりイグニッションオンのたびに車両とシートの組み合わせを確認。何も対策を施さずにシート交換してしまうとコンピューターにエラーが記録され、同時にメーター内に警告表示が出てしまう。この状態でもエンジンはかかるし走行も可能だが、警告表示によって一部のメーター表示が正常になくなってしまおうし、な

より警告表示が出たままの状態だと車検に合格することができないのは大問題なのだ。「GR86/BRZのシリアルチェックは配線に抵抗を入れれば回避出来るような簡単なものではなく、車両側のコンピューターネットワークを解析することが必要でした。このユニットの開発は本当に大変でしたね」とはブリッドの商品開発を担当している大田さん。

そんな苦労の末に完成したのがメモリーマネジメントユニット(MMU)。初期設定で純正シートのシリアル番号を記録させ、イグニッションオン時にコンピューターとの通信を行うことでエラーを回避。このユニットに加えて着座センサー(ブリッドの現行ラインナップには標準装備)、すでに発売済みのサイドエアバッグキャンセラー(2・2Ω)をシッカリと取り付ければ助手席側シートも安心して交換することができるのだ。

シート本体の開発だけでなく、シート交換時に必要なアイテムもラインナップしているブリッド。スポーツシートへの交換を考えているなら、まずチェックすべきトップブランドなのである。



腰まわりや、大腿部を深く包み込むシェル形状に加え、シート素材などまでゼロから見直して開発された新世代のフルバケットシート。座面前方を持ち上げたシェル形状は、サブマリン現象の抑制も狙っている。

## XERO CS

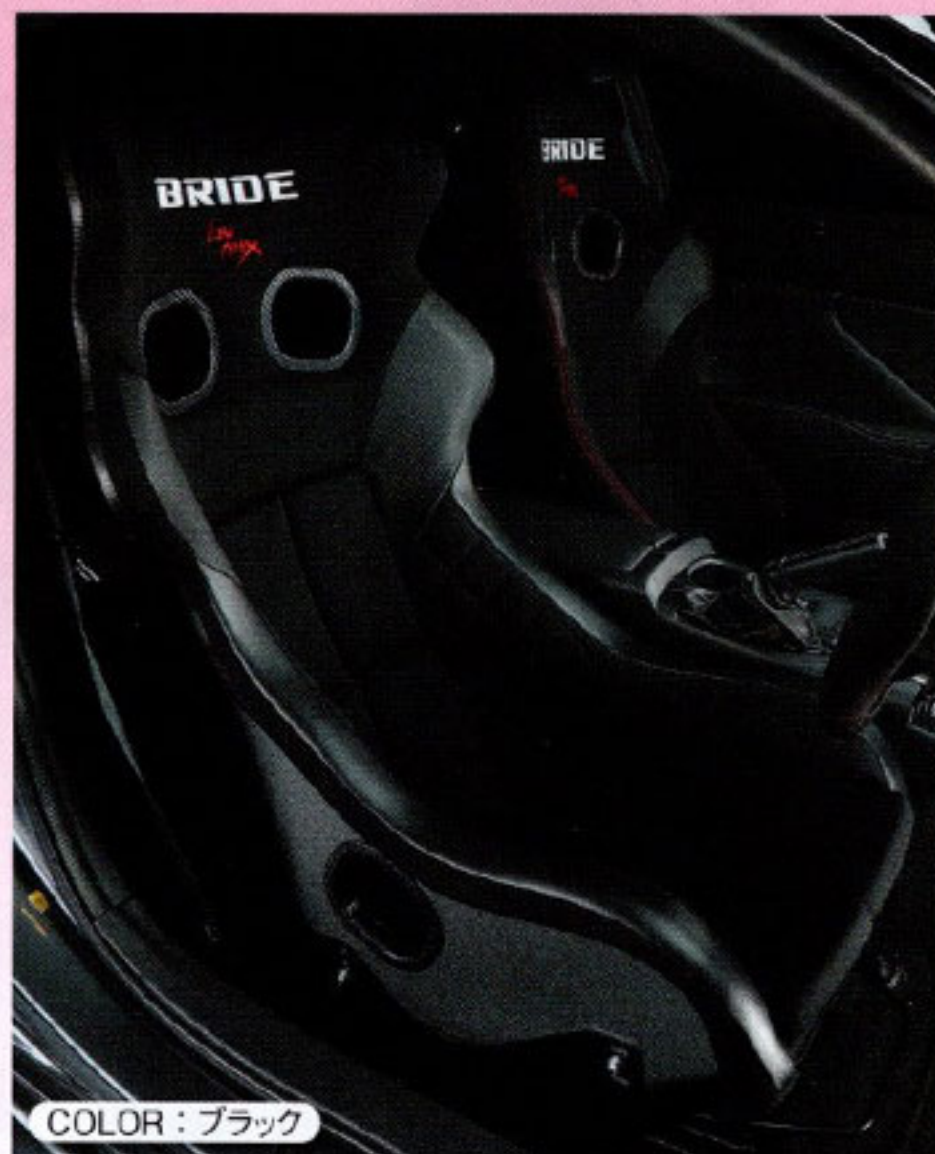
ゼロ-CS

価格：13万2000円~20万1300円  
COLOR：グラデーションロゴ  
ブラック

### 機能性、快適性、安全性を兼ね備えた大人気の次世代フルバケットシート

純レース用シート製作のノウハウを注ぎ込んで開発されたのがゼロシリーズ。FIA競技のほとんどのカテゴリーで義務、または推奨されているヘッドガードを採用した新世代のレーシングフルバケットシートだ。

XEROシリーズの特徴の1つであるヘッドガードは形状&大きさが違う4タイプをラインアップしており、CSは車検対応型の中型ヘッドガードを装備。ストリートからサーキットまで楽しみたいユーザーに大人気となっているモデルだ。



COLOR：ブラック



#### XERO CS / ZETA IV Classic 取り付けDATA

シートレール	ヒップポイント移動量(約)	備考
FD	+30mm/+15mm/0mm	—
LF	+15mm/0mm/-15mm	—
FG	-15mm/-30mm/-45mm	ハンドルオフセット：ドア側に約15mm
LG	-20mm/-35mm/-50mm	ハンドルオフセット：ドア側に約5mm 車両カーペットとシートレール干渉の可能性あり

※サイドステーの穴位置選択によって角度とヒップポジションを選択可能

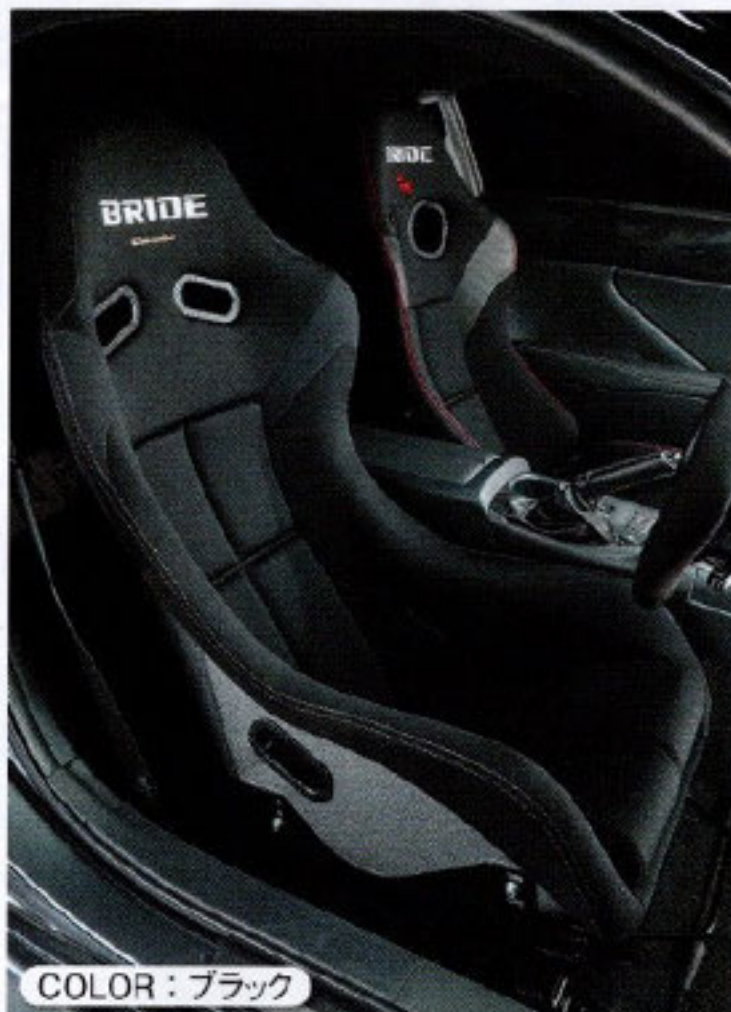
## ZETA IV Classic New MODEL

ジータ4 クラシック

価格：12万8700円/COLOR：ブラック

**目** 本人の平均身長と体重に合わせてデザインされたブリッドを代表する定番フルバケットモデルがジータ。最新モデルのジータ4では、アラミドによる補強など工法の変更によるシェル剛性の向上、モールドウレタン素材をクッションに採用して耐久性を向上させるなど、安全性や快適性がアップデートされている。

そんなジータ4のホールド性などはそのまま、先代モデルに採用されていた小径ベルトホールとグレーのダブルステッチを採り入れたのがジータ4クラシック。GR86やBRZはもちろん、旧車や往年の名車にもマッチする注目のモデルとなっているのだ。



COLOR：ブラック

先代モデルのデザインを採り入れたクラシカルテイストのフルバケット誕生！



後部座席がある車両の前部座席にフルバケットシートを装着する際、通常は保安基準適合のため別売のシートバックプロテクターが必要となっていたが、ジータ4クラシックはシート背面もハーフカバーされているためシートバックプロテクターが不要。なお、こちらはFIA認証ラベル無しモデルとなっている。

乗降性に優れた座面形状  
快適性とホールド性を両立!

## ERGOSTER

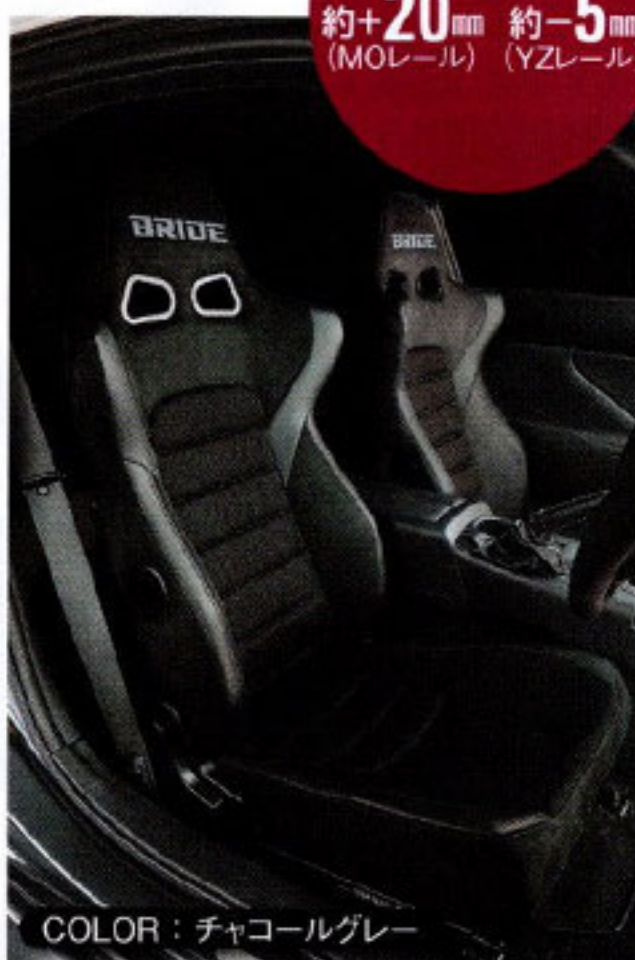
エルゴスター

価格：14万8500円~  
17万8200円

COLOR：グラデーションロゴ  
ブラック  
チャコールグレー/レッド

**ド** ライバーが疲れにくい「ニューエルゴノミクスデザイン」が採用されていることに加え、エッジの効いたショルダーデザインでスポーティなルックスを実現している注目の新製品がエルゴスター。

比較的フラットな座面は乗降性が抜群ながら、体重を載せると絶妙に沈み込んでホールド性を確保。上半身もショルダーサポートなどにより、スポーツ走行にも対応できる注目の新製品となっているのだ。



COLOR：チャコールグレー

ヒップポイント移動量  
約+20mm 約-5mm  
(MOLレール) (YZレール)

乗降性とホールド性を高次元でバランス  
リクライニングシートのフラッグシップ!

## STRADIA III

COLOR：ブラック

ストラディア3

価格：23万1000円~29万9200円  
COLOR：グラデーションロゴ  
ブラック/レッド

**フ** ルバケットシート並みのホールド性能と乗降性を重視した座面形状により、利便性と快適性を高次元に融合させたストラディア3。

3D-CADによって新設計されたボーンフレームと、ジータ4のデザインを継承したモノコック構造のボディシェルにより、剛性や強度が飛躍的に向上しているほか、バックラッシュを極限まで抑えた新開発のリクライニング機構とワンタッチ式のリクライニングレバー、モールドウレタン素材をクッションに採用するなど、耐久性や操作性、快適性を高めている。



ヒップポイント移動量  
約±0mm 約-15mm  
(ROレール) (LRレール)